

令和2年2月26日

▼タイトル

令和2年度展示「佐藤一斎 ～藤樹書院を訪ねて200年～」を開催します。

▼概要

日本陽明学の祖 中江藤樹から大きな影響を受け、江戸時代後期の最大の儒者であると言われている佐藤一斎は、安永元年（1772年）に美濃国岩村藩家老、佐藤信由の次男として江戸岩村藩邸の屋敷で生まれた。佐藤一斎は、大学頭の林述斎との親交をつうじ林家の塾長となり、多くの門弟の指導に当たった。天保12年（1841年）70歳の時に幕府の昌平坂学問所の儒官を命じられ、将軍を始め諸大名に講義をした。

佐藤一斎は幕府の教学である朱子学を奉ずる立場にあったが、陽明学につよい関心をいただいていた。このことは、一斎が50歳のとき、美濃と京都にある父祖の地の墓や史跡を訪れた際、わざわざ近江小川村の「藤樹書院」を参詣し、藤樹の神主（位牌）に香をたむけたことからもうかがえる。そうした一斎の思想に対して、他の儒者仲間から「陽朱陰王」などとあだ名されたことは有名である。「陽朱陰王」とは、表は朱子学を説いたが、裏では王陽明の学を信奉したという意味である。

今回の展示では、佐藤一斎が藤樹書院を訪ねて200年になることを記念して、一斎が文政4年（1821年）に藤樹書院に参詣した時の書をはじめ、一斎が江戸時代後期に活躍した当時を偲ぶ遺墨や肖像画、書籍、写真および一斎ゆかりの地である岐阜県恵那市岩村城下などを紹介する。

▼展示開始日 令和2年3月5日（木）から

休館日は毎週月曜日（祝日および振替休日を除く）・祝日および振替休日の翌日（土曜日または日曜日を除く）・12月29日から1月3日まで

▼場所 近江聖人中江藤樹記念館 第1展示室

▼内容

中江藤樹像（像は鶴沢探龍の直筆、賛は佐藤一斎）、七言律詩（佐藤一斎の直筆）、佐藤一斎七言絶句（佐藤一斎の直筆）、王陽明傳習録欄外書（和綴じ本）、佐藤一斎自賛画像（椿椿山筆 複製）、佐藤一斎書跡「最楽」（複製）、愛日楼文詩（佐藤一斎著 複製）、岩村城絵図（複製）、岩村城跡や岩村城下の写真パネル、佐藤一斎年表

▼対象 全来館者

▼問い合わせ先

- 所 属：近江聖人中江藤樹記念館
- 担 当：館長 富永 雄教
- 電話番号：0740（32）0330
- ファックス：0740（32）0330